

# 大江戸スター名鑑

2012年2月1日(水)～2月26日(日)

(2月6、13、20日は休館致します。)

太田記念美術館

階	作者	画題	年代
1階	歌川豊国	二代目岩井半四郎 五代目瀬川菊之丞	絹本着色 文化末(1815～18)頃
	歌川国貞	七代目市川団十郎の暫	絹本着色 文政末～天保(1827～44)頃
	歌川国周	四代目市村家橘	絹本着色 慶応(1865～68)頃
	菊川英山	花魁立姿	紙本着色 文化(1804～18)頃
	奥村政信	志道軒講釈図	紙本着色 享保～寛宝暦(1716～1764)頃
	二代鳥居清倍	初代荻野伊三郎のかり金ぶん七二代目市川団十郎のかみなり庄九郎 初代坂東彦三郎のあんの平右衛門 初代大谷広次のほてい市右衛門 初代沢村宗十郎のこくい千右衛門	享保15年(1730)
	鳥居清広	二代目市川海老蔵の矢の根五郎	宝暦4年(1754)正月
	鳥居清満	二代目坂東彦三郎の小姓吉三	宝暦11年(1761)正月
	鳥居清満	四代目市川団十郎の悪七兵衛景清	明和(1764～72)頃
	勝川春好	三代目瀬川菊之丞の女助六	天明5年(1785)2月
	勝川春章	六代目中山小十郎の伊豆ノ順礼長兵衛突ハ長田太郎景宗	天明5年(1785)11月
	勝川春好	二代目市川門之助の曾我五郎	寛政元年(1789)正月
	勝川春英	五代目市川団十郎のなるかみ上人 四代目岩井半四郎のくものたへま	寛政2年(1790)2月
	勝川春英	初代市川男女蔵の村上彦四郎	寛政4年(1792)11月
	歌川豊国	役者舞台之姿絵 きの国や	寛政7年(1795)正月
	東洲斎写楽	初代市川緞蔵の竹村定之進	寛政6年(1794)5月
	歌川豊国	三代目市川八百蔵の古手屋八郎兵衛	寛政7年(1795)2月
	歌川豊国	二代目中村仲蔵の松王丸 七代目片岡仁左衛門の藤原時平 三代目市川八百蔵の梅王丸 二代目中村野塩の桜丸	寛政8年(1796)7月
	歌川豊国	六代目市川団十郎のえびしやこの十 四代目岩井半四郎の三か月おせん	寛政10年(1798)11月
	歌川国政	中村座にて口上 市川白猿	寛政10年(1798)11月
歌川豊国	四代目市川団蔵の松王丸 三代目坂東彦三郎の竹部源蔵	寛政11年(1799)5月	
2階	無款	二代目嵐雛助の石川五衛門 三代目坂東彦三郎の久吉	寛政12年(1800)2月
	歌川豊国	初代瀬川路之助の高尾	文化元年(1804)9月
	歌川国貞	成田山 七代目市川団十郎	文化後期(1814～18)頃
	歌川国貞	堀の内 五代目岩井半四郎	文化後期(1814～18)頃
	歌川豊国	五代目松本幸四郎のどふてつ 三代目坂東三津五郎の三ヶ津池 四代目沢村宗十郎の鳴神	文化9年(1812)3月
	歌川豊国	三代目尾上菊五郎 初代中村大吉 二代目岩井半四郎	文化14年(1817)11月カ
	歌川広重	初代中村大吉の清盛の乳人八条の局 初代中村芝翫の安芸守平清盛	文政元年(1818)11月
	歌川広重	初代中村芝翫の庭作出村新兵衛突ハ上総介広光 三代目坂東三津五郎の夜そば売玉屋新兵衛突ハ三浦之介義澄	文政元年(1818)11月
	歌川豊国	初代嵐冠十郎の鬼つら 三代目坂東三津五郎の仁木たん正 五代目松本幸四郎の大場道ゑき	文政6年(1823)3月
	歌川国貞	六代目岩井半四郎のかほよ 三代目尾上菊五郎の高の師直	天保4年(1833)3月
	歌川国貞	花誘 吉原の夜雨 東八景ノ内 中村歌右衛門	天保10年(1839)2月
	歌川国貞	花の移 両国ノ夕照 東八景ノ内 中村歌右衛門	天保10年(1839)2月

三代歌川豊国 (国貞)	東海道五十三次の内 戸塚駅 早野勘平	嘉永5年(1852)3月
三代歌川豊国 (国貞)	東海道五十三次の内 程ヶ谷駅 姥おかる	嘉永5年(1852)3月
三代歌川豊国 (国貞)	古今俳優似顔大全 音羽家 坂東系譜	文久3年(1863)6月
三代歌川豊国 (国貞)	踊形容江戸絵栄	安政5年(1858)7月
三代歌川豊国 (国貞)	三代目岩井桑三郎のおぜう吉三 嵐吉六のとり手吉良丸 初代河原崎 権十郎のおぼう吉三 松本国五郎の長沼六郎 四代目市川小團次の和 尚吉三 市川白猿の釜屋武兵衛	万延元年(1860)正月
歌川国周	二代目沢村訥升のより兼 三代目沢村田之助の高尾	慶応2年(1866)4月
歌川国周	三代目関三十郎の猿田彦	明治2年(1869)9月
豊原(歌川)国周	西南雲晴朝東風 百姓作蔵住家の場	明治11年(1878)3月
豊原(歌川)国周	楽屋二階影評判 松王 嵐璃寛	明治16年(1883)2月
豊原(歌川)国周	歌舞伎座中満久 皿屋舗化粧姿鏡	明治25年(1892)10月
勝川春英	谷風 瀧ノ音	寛政前期(1789～94)頃
勝川春英	横綱土俵入り	寛政前期(1789～94)頃
歌川国貞	緋緘力弥	天保前期(1830～36)頃
歌川国貞	鱗石文蔵	天保(1830～44)頃
菊川英山	風流吉原八景 寿かゝきの晩鐘	文化後期(1811～18)頃
歌川国貞	松葉屋内代々山 かけを にしき	文政(1818～30)頃
溪斎英泉	傾城江戸方格 水道橋 丁子屋内 唐歌	文政後期(1825～30)頃
勝川春好	江戸三幅対	寛政前期(1789～94)頃
三代歌川豊国 (国貞)	誠忠大星一代話 二十	弘化4～嘉永3年(1847～50)
歌川芳虎	忠臣雪夜志	安政4年(1857)正月
歌川国芳	義士夜討人形之図	安政3年(1856)2月
三代歌川豊国 (国貞)	明石ノ浦景	嘉永2～5年(1849～52)頃
三代歌川豊国 (国貞)	修紫田舎源氏 紅葉賀	嘉永2～5年(1849～52)頃
歌川広重	五十三次名所図会 卅七 赤坂	安政2年(1855)7月
歌川国周	里見八犬伝之内 犬山道節	慶応元年(1865)12月
溪斎英泉	当世好物八契 草双紙	文政(1818～30)頃
歌川国安	両国花火の図	文化後期(1811～18)頃
三代歌川豊国 (国貞)	見立隅田川夕涼	文久元年(1861)6月
三代歌川豊国 (国貞)	千代田稲荷大祭	文久3年(1863)8月
歌川周重	隅田川納涼の役者	明治13年(1880)2月
歌川国貞	当世俳優最良競 五代目瀬川菊之丞	文政前期(1818～1824)頃
三代歌川豊国 (国貞)	江戸名所百人美女 猿若町	安政4年(1857)11月
三代歌川豊国 (国貞)	二丑四好今様美人 芝居好	文久3年(1863)11月
歌川広重	東都名所 二丁町芝居繁栄之図	天保後期(1837～44)頃
歌川国芳	芝居町繁栄之図	嘉永6年(1853)2月
二代歌川国貞	楽屋十二支之内 仁木弾正 子	万延元年(1860)8月